

CSR REPORT 2014



みなさまに信頼され
必要とされる企業であるために



CSR REPORT 2014

みなさまに信頼され
必要とされる企業であるために

トップメッセージ

事業活動と社会的責任

企業理念

経営理念

お客様の定義

ミッション

企業価値

行動基準

コンプライアンス

- ・シーレックスグループ「倫理綱領」
- ・企業倫理相談窓口
- ・セクハラ・パワハラ・メンタルヘルス相談窓口
- ・公正な外注取引
- ・危機管理体制の整備

品質保証体制

- ・品質保証体制の推進
- ・シーレックス品質方針
- ・品質事故対応
- ・グリーン調達
- ・個人情報保護マネジメントシステムの推進
- ・社内規程/ルールの遵守
- ・シーレックス個人情報保護方針

人財の開発・育成

- ・部下指導研修
- ・プロモーションルマーケター認定資格
- ・社外研修の受講
- ・新入社員フォローアップ研修
- ・通信教育講座
- ・改善提案制度

安全で安心な職場環境の実現

- ・基本的人権の尊重
- ・労働安全衛生の推進
- ・災害時の危機管理
- ・健康管理・健康増進
- ・安否確認システムの操作訓練
- ・AED(自動対外式除細動器)

社会・地域社会貢献活動

- ・ボランティア活動
- ・献血運動
- ・工場見学
- ・清掃活動
- ・エコキャップ運動の推進
- ・使用済み切手/テレホンカードの回収

環境保護体制の推進

- ・シーレックス環境方針
- ・環境ビジョン2013年度評価
- ・グリーン購入
- ・CO2の削減
- ・産業廃棄物の削減
- ・その他リデュース
- ・水質検査の実施

地球環境保護への貢献

私たちシーレックスは、2012年に東北工場、2013年に兵庫工場の増築を行い、工場設備の増強など生産体制の拡充を図っていくなかで、照明のLED化の推進、電力消費の低減を考慮した機械の導入など、環境に配慮した設備投資を進めてまいりました。しかしながら2013年度の電気消費量は前期比4.6%増、CO2排出量は前期比4%増となってしまいました。その主な理由としては生産量の増加により、売上が前期比7.9%増えたことが挙げられます。従いましてエネルギー原単位は目標を達成することができませんでした。

私たちシーレックスは、これからも地球環境の保護を推進してまいります。

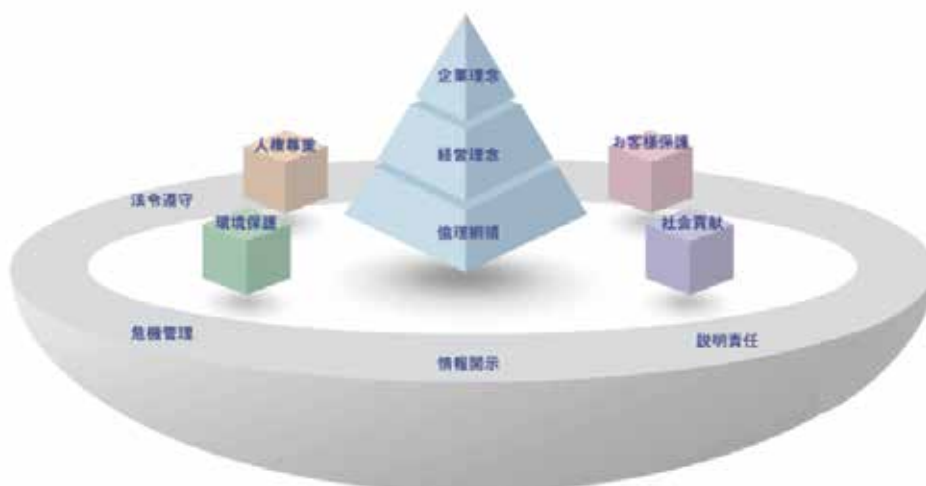
社会に貢献し社会から信頼され、必要とされる企業をめざします

私たちシーレックスは、「ものづくり」を通じて社会に貢献し、社会から信頼され、必要とされる企業をめざし、創業以来「創造」の精神を原点に歩んでまいりました。

近年では、飲料業界のお客様と共に、揮発性有機化合物（VOC）を使用せずCO2の削減ができるペットボトル飲料用ラベルの水性フレキシ印刷加工技術を開発しました。また、食品業界のお客様と共にスライスチーズ包装向けに機能性をもった「ハイバリアタックラベル」を開発しました。

これからも、「新たな高機能ラベル」「新たな付加価値ラベル」など、お客様の多種多様な「要望」を具現化していきます。

私たちシーレックスは社会に貢献し、信頼され、必要とされる企業であり続けるために、創業以来培ってきた技術やノウハウにさらに磨きをかけ、新しい価値を「創造」し、高い目標に「挑戦」し続ける会社として邁進してまいりますので、これまで以上にご支援ご指導を頂きますようお願い申し上げます。



2014年7月

シーレックス株式会社

代表取締役社長 栗原 敦

事業活動と社会的責任

シーレックスは、様々なシール・ラベルの開発と進化に対応し、その可能性を拡大させてきました。

社名“Sealex”の由来は、“Seal+Extension”。まさに「可能性の広がり」そのものをその名に託しています。

私たちがなすべきことは、いかなる時代になってもお客様に喜んでいただける「モノづくり」を続けることにほかなりません。

より多くの魅力的な商品をお客様にお届けするために、Imagination（創造）の翼を身体いっぱい広げて、シーレックスは次代への挑戦を加速させています。



企業理念

創業者の精神・伝統の原点「創造(クリエイティブ)」

創業以来、シーレックスの歴史はまさに「創造」の連続でした。日本専売公社の煙草値上げシールの全量一括受注から始まり、ラベリングシステムの販売。製版の内製化。一連の業務のコンピュータ化。SPシールの製造及びカタログ販売。多層ラベルの製造販売などなど過去四十数年、シーレックスは業界に先駆け、新しい仕事、新しい市場、新しい需要、新しい商品、新しい仕組み、新しいサービス、新しい価値を「創造」してきました。これからも、未来永劫、シーレックスは「創造」の精神を原点に活動していきます。

経営理念

経営者の哲学・思考

シーレックスは「高い志をもってあらゆることに挑戦する気概に満ち溢れる会社」「変化に柔軟に対応して世の中の半歩先を行く意味でのタイムリーでスピーディーに実行する会社」「他社、他人には絶対に負けない匠をもっている会社」になることを理念としていきます。

「挑（チャレンジ）」
「速（スピード）」
「匠（プロフェッショナル）」

お客様の定義：

シーレックスのお客様の範囲・定義



取引先企業



消費者

シーレックスのお客様の定義は、ご注文を頂いている「取引先企業」だけでなく、我々の作り上げたシール・ラベルを実際に手に取り、見て、読んで、使用される「消費者」の皆さまです。私たちは、常に「取引先企業」とシール・ラベルを使っていたいただいている「消費者」の皆さまのことを考えながら仕事をおこなっています。

ミッション：

企業としての存在意義・基本的な使命

お客様に「安心」と「便利」そして「満足」と「喜び」を提供する。

シーレックスの使命は、時代によって移り変わるお客様の要求に柔軟に対応し、シール・ラベルを通じて「安心」と「便利」をお届けします。また品質・価格・納期においては「満足」を、更には、皆さまが生活の中で見たり、触ったりしたとき感じる「喜び」を大切にしたいと考えています。

企業価値：お客様に提供する価値の本質を凝縮して一言で表現したもの

シーレックスがお客様に提供できる価値は何なのか？お客様から選んでいただける会社の価値とは何なのか？ 私たちは、お客様からいただいた受注をもとに印刷・加工して、ただ単に提供するのではなく、ラベリングシステムやプリンターといったハードと、さまざまなキャンペーンや広告の企画などのソフトをお客様にご提案しています。

多種・多様なシール・ラベルを24時間、365日、お客様が必要とされる時に必要な数をお届けし、喜んでいただくことがシーレックスの企業価値と考えています。

ひとこと言えば、シーレックスは「ハードとソフトを兼ね備えたシール・ラベルのコンビニエンスストア」です。

行動基準：社員に対して日常的に期待される行動指針

シーレックスで働く人々が毎日の仕事に取り組む上で常に念頭において行動して欲しい基準

【行動基準10カ条】

- ①お客様の要望に応え、お客様の問題・課題を解決し、お客様の信頼を勝ち取り、お客様を創造する。
- ②新しいアイデアを常に創造し、実行し、そして社会を変革し、社会に貢献する。
- ③何事にも積極的に挑戦し、困難や競争から逃げず、最後までやり遂げる。
- ④当たり前のこと、基本的なこと、平凡なこと、小さいことの積み重ねを徹底し、確実に、正しく行う。
- ⑤いつも明るく、元気に、物事をプラス思考し、未来に希望を持ち、未来を創造していく。
- ⑥ひとりひとりが自立し、仲間とのコミュニケーションを促進し、智恵をだしあい、互いに成長していく。
- ⑦常に変化に適応し、やる気をもって、スピードをあげて実行する。
- ⑧良き地球市民として、地球環境を常に念頭に置き、これを優先して行動していく。
⇒【環境方針】
- ⑨常にお客様の品質、価格、納期要求を満たす製品を提供し続ける。
⇒【品質方針】
- ⑩個人に関する情報の重要性を理解し、安全かつ正確に徹底的に管理、保護する。
⇒【個人情報保護方針】

シーレックスグループでは、役員および従業員一人ひとりがコンプライアンスの精神を持ち、社会から信頼され、必要とされる企業を目指して事業活動を進めています。

社会から信頼され必要とされる企業を目指して

私たちシーレックスグループは、コンプライアンスを単なる法令遵守ではなく、企業倫理や社内規則、規程まで含めた広い範囲でのルール遵守と位置づけています。

私たちは公正な競争を通じて利潤を追求すると同時に、広く社会にとって有用な存在になれるよう社内の行動基準として「シーレックスグループ倫理綱領」や「行動基準10カ条」を制定して、関連法規ならびに社会ルールを遵守しています。

シーレックスグループ「倫理綱領」《顧客、取引先、他社、社会との関係》

1. 法令、社内規則、方針の遵守

私たちシーレックスの役員、従業員は、自らの業務に関連する全ての法令、規則及び社内規則、方針を遵守し、また自らの業務に適用される法令、規則及び社内規則、方針上の要請を確認し、理解することは、シーレックス取締役、役員、従業員の責任です。

2. 消費者・顧客の信頼を獲得する

私たちは、常に顧客の満足が得られる信頼性の高い製品とサービスをタイムリーに提供します。そのために、常に品質の継続的改善に努めます。

3. 取引先、協力会社との信頼構築

私たちは、公明正大、自由な競争のもとに、購入先の選定については合理的な判断を行い、購入先や協力会社とは誠実な取引関係を継続して高い信頼を得られるように努めます。

4. 会社情報・製品情報の保全

私たちは、顧客の情報、製品に係わる情報を適正に管理し、目的以外での使用はしません。

5. 接待、贈答等

私たちは、取引先と健全な関係を築き、社会通念を超える接待、贈答の收受はしません。

6. 広告・宣伝等

私たちは、広告・宣伝等の活動で事実と反する表示・表現や誤解を与えるおそれのある表示・表現は行なわないよう努めます。

7. 地域社会との共生

私たちは、良き企業市民としての役割を自覚し、地域社会の活性化に向けてスポーツ・教育振興、自然保護・環境保全、福祉支援等の社会貢献活動を積極的に行ないます。

8. 環境との共生

私たちは、環境保護を尊重し、省エネルギー、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理など環境保護活動を自主的、積極的に行うとともに環境配慮型商品の開発を行います。

9. 反社会的勢力との対決

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体の介入は断固として排除します。またどのような名目であっても、いかなる利益供与も行わず、警察等の関係行政と密接に連携し、協力します。

10. 関係官庁、政治家との関係

私たちは、政治、行政とは透明度の高い健全な関係を構築します。

シーレックスグループ「倫理綱領」《従業員との関係》

1. 人権の尊重

私たちは、人権を尊重し、差別的取扱を排除します。また男女共同参画社会の実現に努めます。

2. プライバシーの保護

私たちは、プライバシーを尊重し、従業員の個人情報の適正な保護に努めます。

3. ハラスメントの排除

私たちは、いわゆるハラスメント（嫌がらせ）につながる行為を排除し、公正で明るい職場づくりに努めます。

4. 政治・宗教活動の禁止

私たちは、職場において、政治、宗教等の個人的な活動は行いません。

5. 勧誘活動の禁止

私たちは、職場において、個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動は行いません。

6. 会社財産の適正管理・使用

私たちは、会社の財産を私的な目的で使用しません。

7. 健康的な職場環境の維持

私たちは、健康的で安全で働きやすかつ生産的な職場環境づくりを推進し、従業員の福祉の充実に努めていきます。

8. 正しい報告

私たちは、事実に基づく正確な記録と報告を行います。

企業倫理相談窓口

シーレックスでは2006年7月に「企業倫理相談窓口設置規程」を制定し、シーレックスで働く従業員からのあらゆる相談に対応出来る相談窓口を開設しております。万が一、法令・社内規定・倫理綱領に違反する行為を発見した場合、速やかに相談窓口に通報することで早期に問題解決ができる社内制度を構築しております。これらは、2006年4月に施行された「公益通報者保護法」に準拠しております。



●企業倫理相談窓口ポスター

セクハラ・パワハラ・メンタルヘルス相談窓口

セクシャルハラメント、パワーハラメントといった問題は今や重大な社会問題として取り上げられています。シーレックスでは、このような被害を受けた従業員が相談しやすいように外部に相談窓口を設け、問題の早期解決、再発防止に取り組んでいます。また、うつ病、自律神経失調症など『心の病気』に対するケアについても同様に専用の相談窓口を設け、メンタルヘルス対策を行っております。



公正な外注取引き

●下請法の遵守

お客様の多様なニーズに応えるために、シーレックスは数多くの協力事業者にご支援をいただいております。協力事業者との公正で適切な外注取引きをおこなうには下請法の遵守が必要不可欠となります。シーレックスは、外注取引きに関連する部門に対して必要な情報の伝達とコンプライアンス教育をおこない、これからも協力事業者との間でWIN-WINの関係が保てるよう取り組んでまいります。

●基本取引契約書の取り交わし

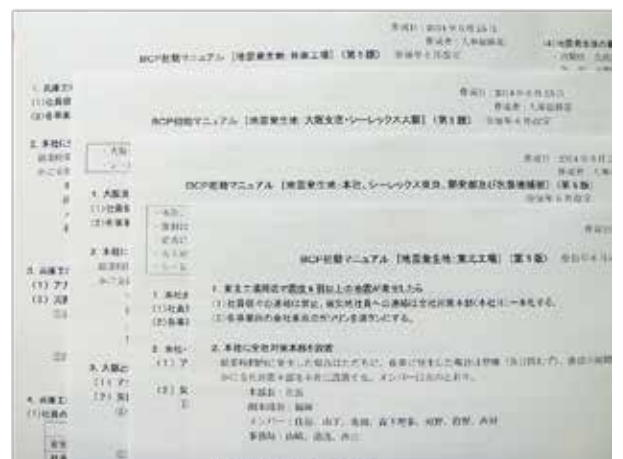
シーレックスでは、すべての協力事業者との間で「基本取引契約書」を取り交わし、公正かつ透明性の高い外注取引きに努めていきます。



危機管理体制の整備(シーレックス事業継続計画書の策定)

シーレックスでは、2007年より大地震や大規模な自然災害により工場やオフィスが被災した場合を想定して事業継続計画（BCP）に取り組んでいます。2011年の東日本大震災を教訓に各事業所で地震などの自然災害を想定した避難訓練や携帯電話を利用した全社の安否確認訓練の実施。また、携帯電話に緊急時用の専用回線を設けたり、停電が起きても業務に支障が出ないようにするため専用電源も整えました。

このように災害対応能力を総合的に向上することにより、お客様への信頼性の確保を実現してまいります。

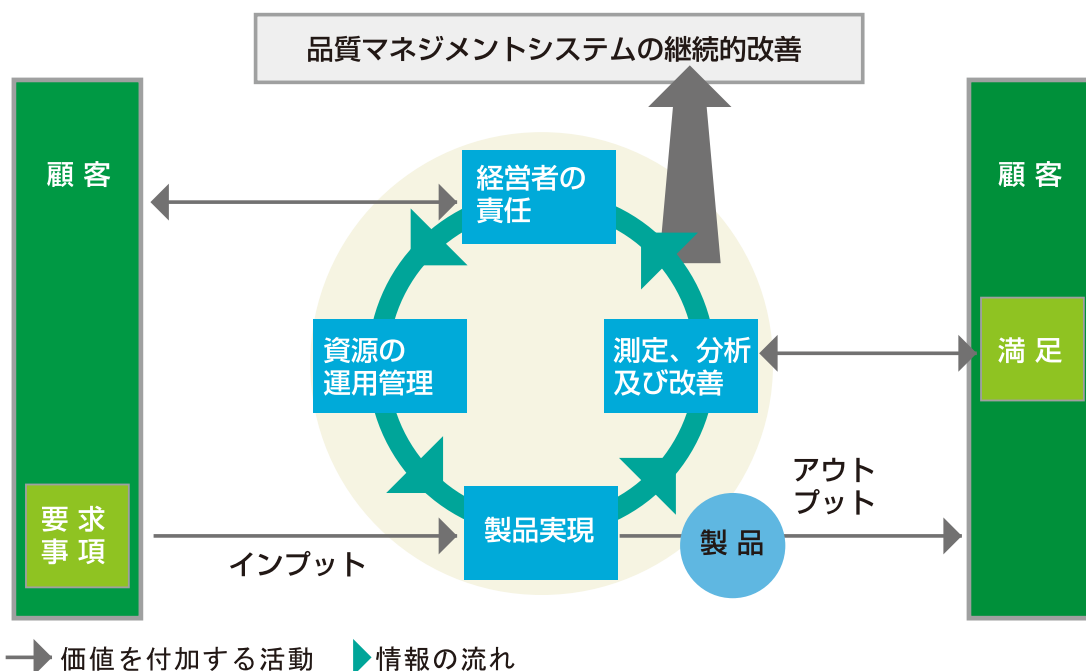


品質保証体制の推進

～顧客満足～

シーレックスは、お客様満足を得るためにお客様の要求される品質標準に対応し、環境に配慮したモノづくりをおこなっております。ISO9001規格の要求事項に沿って「品質マネジメントシステム(QMS)」を確立し、継続的に改善に取り組んでいます。

お客様の定義として「お客様＝取引先企業＋消費者」を掲げ、設計・開発、営業活動から製造、デリバリーに至るすべてのプロセスの品質を保証するため、業務・品証本部が主体となって従業員教育や品質監査を実施し、全社のレベルアップをはかっております。



シーレックス品質方針

シーレックス株式会社は、シール・ラベルの製造において、顧客満足の向上を目指すために、全員で品質マネジメントシステムを確立し、品質の継続的改善・向上を行う。

制定日 2001年12月18日
改訂日 2007年6月11日

品質事故対応

シーレックスは、グループ全体で品質事故の撲滅の活動を展開しております。製造工程においての不良要因を取り除くことはもちろん、製品に求められる品質基準を明確にして、ご満足いただける製品をお届けできるよう全社一丸となって取り組んでいます。

グリーン調達

近年、EU諸国をはじめとする世界各地で製品に関する環境規制が強化されています。(REACH規制*1、RoHS指令*2) シーレックスでは、お取引先とともに原材料や副資材の化学物質管理を図っています。

(* 1) EUの化学物質規制で化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制の略称。

(* 2) 欧州の電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する規制の略称。

個人情報保護マネジメントシステムの推進

シーレックスでは、“個人情報保護は、社会的責任を果たすだけでなく、お客さまのみならず、あらゆるステークホルダー（利害関係者）に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造である”と考えております。お客様からお預かりする個人情報を取り扱う上で、想定されるあらゆるリスクに対応できるようプライバシーマーク（*1）を認証取得し、個人情報保護体制を推進しております。これからもお客さまに安心して情報をご提供いただける企業を目指して、個人情報保護体制の維持・推進に取り組んでまいります。



（*1）プライバシーマークとは、「JIS Q15001」の要求事項に基づいて、個人情報を管理する仕組みを構築し、維持・推進する体制を整備している事業者の認定制度

社内規程・ルールの遵守

シーレックスでは、個人情報保護規程を整備し社内の各種共通ルールを制定しています。お預かりする個人情報および従業員の情報は、外部者立ち入り禁止エリアで保管管理することやパソコンなどの情報端末は必ずパスワードでアクセス制限をおこなうなど、情報保護に関する社内教育も定期的実施しています。これらのルールが守られているかどうかは定期的に監査を行い、全社でルールの徹底をはかっています。

シーレックス個人情報保護方針

○ 基本理念

当社は、創業者の精神・伝統の原点である「創造（クリエイティブ）」という企業理念に基づき、新しいサービス、新しい価値を創造してまいりました。この企業理念実現の基盤の一つとして、当社は、社会の一員として企業の社会的責任を果たすことが非常に重要な活動であると考えております。

今日、個人情報保護は企業としての重要な社会的責務であり、当社においても最も重要な活動の一つとして位置づけ、当社の事業ドメインである、シー印刷に関連したサービスや商品提供において、個人情報保護活動は、社会的責任を果たすだけでなく、お客さまのみならず、あらゆるステークホルダー（利害関係者）に「安心」や「満足」をもたらす新たな価値創造であると考えております。

このため、当社では、個人情報保護についての「個人情報保護マネジメントシステム」を制定し、お客様やステークホルダーの皆様の個人情報の適切な管理と保護を行い、その信頼にお応えいたします。

○ 基本方針

1. 当社は、シー印刷等、当社の業務を遂行するために個人情報を取得する際には、利用目的を具体的に特定し、その利用目的の範囲内で利用及び提供を行います。また、本人から同意を得た利用目的を超えた利用又は提供を行う場合は、事前に本人の同意を得るものとします。
2. 当社は、個人情報の取り扱いに関する法令、国が定める指針その他の規範を遵守いたします。
3. 当社は、当社が取り扱う個人情報の漏えい、滅失、き損及び個人情報への不正アクセスを防止するとともに、それら個人情報保護対策の是正に努めます。
4. 当社は、当社が取り扱う個人情報に関する個人情報相談窓口を設置し、苦情、相談、及びその他問い合わせに適切に対応いたします。
5. 当社は、個人情報保護の活動を日々向上させるために、個人情報保護マネジメントシステムの継続的改善を行います。

制定日：2002年11月11日
改訂日：2006年10月10日
シーレックス株式会社
代表取締役社長 栗原 敦

人財の開発・育成 ～創造の源泉は人～

シーレックスは、シーレックスで働く人は「人材」ではなく、「人財」であること、これまで人の持つ無限大の可能性を信じて「企業の競争力の源泉は人」「一人ひとりの成長の総和が企業発展の基盤」という考えのもと人を機軸においた経営、人を育てていくことを重視した経営を貫いてきました。「創造の源泉は人」人財の開発・育成にこれまで以上に取り組んでまいります。

2013年度は、全社重点目標として、人財育成の強化を掲げ、社内・社外の教育を通じて、人財育成に取り組みました。

管理者研修

・部下指導研修

東京、宮城、兵庫、大阪の管理者を対象に実施。パワハラを懲戒事由に加えた就業規則の改正周知とハラスメント判断基準の事例検討を行いました。さらに管理者としての自分の行動特性を知り、適切な部下指導方法についても習得しました。

・プロモーションalマーケター認定資格制度

営業部門では、プロモーションのクオリティを厳しく問われる現在の状況をふまえ、より確かな成果を求めて“戦略性”を高めた、新しいプロモーション技術を取得しています。2013年度は新たに1名認定資格試験に合格しています。



社外研修の受講

研修会社が主催する外部研修に社員を派遣。営業・管理部門の部課長を中心に延べ41名が受講しました。

研修プログラム例：

リーダーシップ開発、動機形成スキル習得、指導力向上、説得力向上、モチベーションコントロール、ロジカルシンキング、洞察力向上など



新入社員フォローアップ研修

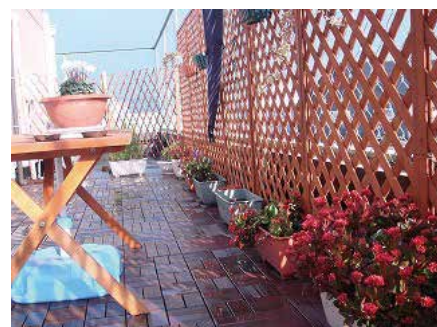
新入社員4名に対しフォローアップ研修を実施しました。研修の内容は、働いて半年がたった時点で「仕事の進め方の基本」をおさらいし、半年経って出来たこと、出来なかったこと、今後の目標などグループワークを通して仲間や先輩と理解を深めました。

通信教育講座

自己啓発の通信教育を7名が受講しました。なお、当社では、会社が指定した通信教育講座の修了が昇格要件のひとつとなっています。

改善提案制度

2013年度に提出された提案件数は、1,852件でした。現場の気付きと創意工夫が「ちょっとした違い」の源泉です。新しい「創造」を見つけ出すためにも継続して取り組んでいきます。



●大阪支店の屋上緑化の提案

安全で安心な職場環境の実現（社員とともに）

従業員に対する最も基本的な責任として、安全で安心して働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

基本的人権の尊重

あらゆる場面において個人の尊厳の確保に取り組むこと、人種・民族・国籍・宗教・性別・身体的特徴などを理由とした差別をいっさい行わないことを「シーレックス倫理綱領」に謳い、社内に周知および徹底をはかっております。特に、セクシャルハラスメントおよびパワーハラスメントの防止を含めた基本的人権の尊重については、管理職研修の実施や専用の相談窓口を設置するなど、問題の解決や防止に努めています。



● 法令遵守ブック

労働安全衛生の推進

労使による安全衛生委員会を定期開催し、安全教育や安全対策に取り組んでいます。特に、生産部門においては、「安全ヒヤリハット」や「危険作業のリスクアセスメント」を実施し、職場内の安全意識の向上による労働災害の撲滅を目指しています。

| | 労働災害件数 | 休業災害 |
|-------|--------|------|
| 2011年 | 6 | 0 |
| 2012年 | 4 | 1 |
| 2013年 | 3 | 0 |

災害時の危機管理(防災訓練)

震などの自然災害や火災などに備え、定期的に避難訓練や消防訓練を実施しています。東日本大震災を契機に、危機管理に対する考え方や基準を見直し、災害時の危機管理体制の充実をはかっております。



健康管理・健康増進

疾病の予防と早期発見、健康の保持増進を目的に定期健康診断を実施しております。また、生活習慣に改善が必要な従業員に対し、産業医や管理栄養士による健康指導もおこなっております。健康志向が高まる中、特に喫煙はさまざまな疾病の発症原因となり、本人はもとより周りの人たちの健康にも悪影響を与えます。当社では、従業員の喫煙率を下げるため目標管理制度に禁煙加点を取り入れ、生活習慣の改善を進めています。

安否確認システムの操作訓練

当社では災害時の安否確認を迅速に行うため、セコムの安否確認システムを導入しております。システムになれるために年に3回の操作訓練を実施しました。21時間後の応答率は97%を維持しております。



AED(自動対外式除細動器)

「助かる命を助けるために」をスローガンに定期的に普通救命講習会を開催しております。「いざ」という時に備え、2007年に導入したAED(自動対外式除細動器)の取り扱いについても出来るだけ多くの方が取り扱える講習を受けています。



社会・地域社会貢献活動（地域とともに）

私たちは、良き企業市民として、地域の皆さまと良好な関係を築き、地域社会との共生を図っていくことが重要な活動と捉えています。地域に根ざした企業を目指し、各地の事業所でさまざまな社会貢献活動をおこなっております。

ボランティア活動

広島営業所では2007年から“ハイプロワーズ 広島”という電動椅子サッカーチームの活動のお手伝いをしています。選手は、脳性マヒや脊椎損傷、筋ジストロフィーなどの重度の障がいを抱えていて、通常の車椅子の操作が出来ないため、全員電動タイプにのり、手だけでなくアゴや足の指先などで車椅子を操作します。

清掃活動

シーレックスでは、毎年、5月30日を「ゴミゼロ」と名づけて、全国一斉に清掃活動を継続しています。



本社



大阪支店・SLX大阪（株）



東北営業所・東北工場

献血活動

シーレックスでは毎年、献血活動に参加しています。



●兵庫工場で献血に参加する従業員



兵庫工場



名古屋営業所



京都営業所



広島営業所



金沢オフィス

工場見学

シーレックスは、地元に着した企業を目指して、地域とのコミュニケーションを大切にしています。工場では、地域の皆様により親しんでいただけるよう高校生の工場見学など、積極的に取り組んでいます。



エコキャップ運動

飲み終わったペットボトルのキャップを回収し、その売却金で世界の子どもたちにワクチンを届ける運動を継続しています。この運動は同時に、キャップを資源化することによるゴミの削減にもつながります。シーレックスは、『地球に愛を、子どもに愛を』エコキャップ運動に取り組んでいます。



使用済み切手／テレホンカードの回収

名古屋営業所では、使用済みの切手やプリペイドカードを集めています。これらをボランティア団体に送り、アジア・アフリカの植林活動や途上国の子どもたちの支援活動に役立ててもらっています。



シーレックスグループは、“かけがえのない地球”の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責務とし、環境と調和した循環型社会を目指し、グループ全体が共通認識のもと環境保全活動を推進しています。



環境保護体制の推進

シーレックスは、1999年に環境マネジメントシステム (ISO14001:EMS) の認証を取得して以来、環境保全活動を重要なテーマとして取り組んでいます。グループ会社を含めた11事業所でCO2の削減や産業廃棄物の削減、使用禁止化学物質の管理など、環境に影響を及ぼす側面の改善に取り組

んでいます。また、これまでに比べゴミが少ないラベルや地球環境にやさしい材料を使用したラベルなどの環境配慮型製品の販売、さらに、印刷工程で揮発性有機溶剤を使用せず、CO2の排出量を削減できる水生フレキソ印刷などの技術開発を推進しています。



シーレックス環境方針

○ 基本理念

シーレックスは常に「かけがえのない地球」の環境と資源を健全な状態で次世代へ引き継ぐことは私たちの責任であり、義務である」を念頭におき、環境と調和した循環型社会をめざし、事業活動のあらゆる面で、環境保全に配慮し行動します。

○ 基本方針

1. シーレックスは事業活動において地球環境の保全を推進するため、組織を整備します。
2. 事業活動が環境に与える影響を捉え、技術的、経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定め、環境保全活動を推進し、継続的改善を図り、環境汚染の予防に努めます。
3. 環境関連の法律、規制および協定などを遵守するとともに、自主管理基準を設定し環境保全に取り組みます。
4. 事業活動の全領域で省エネルギー、省資源、リサイクル、廃棄物削減に取り組みます。
5. 環境に配慮した商品づくりおよび技術開発を行うとともに、グリーン調達を推進を図ります。
6. 環境監査を実施し、環境管理の維持向上に努めます。
7. 環境教育を実施し、全社員の環境方針の理解と、環境に関する意識向上を図ります。
8. 社会とのコミュニケーションに努め、地域社会の環境活動に、積極的に貢献します。

環境ビジョン2013年度評価

シーレックスは、環境理念を達成するために具体的な目標を立て取り組んでいます。

評価基準：

S：目標を十分に達成した A：目標を達成した B：目標が達成できなかった C：目標を大きく下回った

| 方針 | 目標 | 評価 |
|------------|-------------------------------------|----|
| 法規制の遵守 | 水質検査を定期的に行い、水質基準を守る | A |
| | 騒音・振動測定を定期的に行い、基準を守る | A |
| | 特別管理産業廃棄物の管理を継続的に行う | A |
| | 材料および副資材の購入について使用禁止化学物質の含有管理を行う | A |
| CO2の削減 | CO2排出量を売上げ原単位で2012年度対比0.5%削減する | B |
| 産業廃棄物の削減 | 産業廃棄物の排出量の削減を図る | A |
| リサイクル化の推進 | リサイクル率を98%以上で継続する | A |
| 省資源の推進 | 材料在庫の削減、在庫品の削減、再加工の削減 | A |
| 環境配慮型製品の開発 | 環境配慮型製品を一定目標金額以上販売し、環境に配慮した開発品に取り組む | A |
| グリーン購入の推進 | 事務用品などの購入品はグリーン購入ガイドラインに準じて行う | A |

グリーン調達

〔近年、EU諸国をはじめとする世界各地で製品に関する環境規制が強化されています。(REACH規制*1、RoHS指令*2) シーレックスでは、お取引先とともに原材料や副資材の化学物質管理を図っています。〕

(*1) EUの化学物質規制で化学物質の登録、評価、認可および制限に関する規制の略称。
(*2) 欧州の電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する規制の略称。

CO2の削減

〔CO2の削減〕においては、シーレックスグループ全体で取り組み、原単位数値目標において、0.002ポイントマイナスとなり、目標を達成することができました。

工場では、消費電力の抑制を考慮した生産シフト、施設設備においては照明の「LED化」など電力の低減に取り組みました。

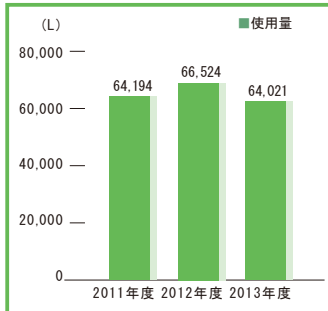
スーパークールビズの導入を行い、社員一人一人の節電意識の啓蒙に努め、ひとつひとつの取り組みが成果へと結びついています。

産業廃棄物の削減

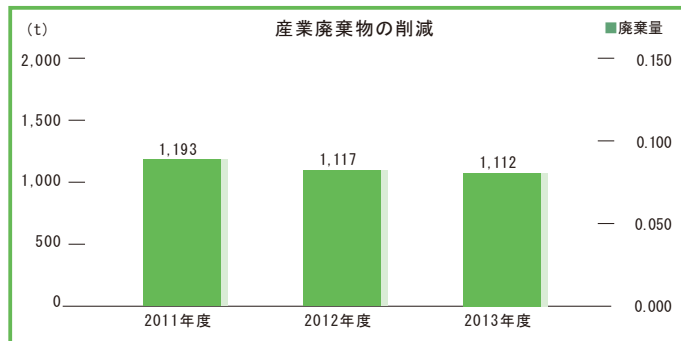
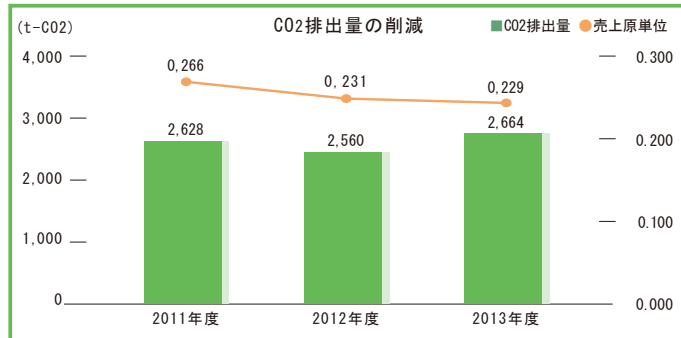
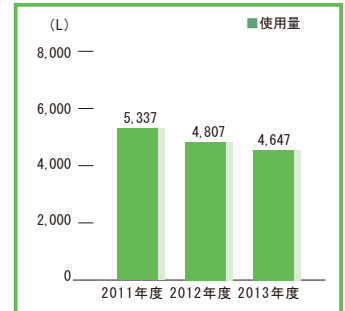
排出量は前年対比0.5%減少しました。シーレックスでは廃棄物を細かく分別することで、リサイクルの推進を図っています。廃プラスチック類の固形燃料化《RPF》や版材料や単体紙の再資源化などに取り組み、シーレックスグループ全体で99%以上のリサイクル率となっています。資源、エネルギーの大切さを日々意識し、ゼロエミッションに取り組んでいきます。

その他リデュース

ガソリン使用量



水道使用量



水質検査の実施

定期的に水質検査を実施し、水質の汚濁管理をしています。

2013年度水質検査結果

<兵庫工場>

| 計量項目 | 単位 | 基準 | 結果 |
|------------------|-------|---------|--------|
| 水素イオン濃度 (PH) | - | 5.8~8.6 | 7.3 |
| 浮遊物質 (SS) | mg/L | 130 | 1未満 |
| 化学的酸素消費量 (COD) | mg/L | 100 | 4.6 |
| 生物化学的酸素消費量 (BOD) | mg/L | 100 | 1.6 |
| 全リン | mg/L | 16 | 0.53 |
| 大腸菌数 | 個/cm3 | 3,000 | 30未満 |
| 全窒素 | mg/L | 120 | 6.4 |
| ノルマルヘキサン抽出物質含有量 | mg/L | 15 | 0.5未満 |
| クロム | mg/L | 0.35 | 0.02未満 |
| フッ素化合物 | mg/L | 15 | 0.13 |

<東北工場>

| 計量項目 | 単位 | 基準 | 結果 |
|-----------------|------|---------|--------|
| 水素イオン濃度 (PH) | - | 5.7~8.7 | 7.3 |
| 浮遊物質 (SS) | mg/L | 300 | 7 |
| 化学的酸素消費量 (COD) | mg/L | 100 | 30 |
| ヨウ素消費量 | mg/L | 220 | 5未満 |
| 銅含有量 | mg/L | 3 | 0.02未満 |
| 亜鉛含有量 | mg/L | 5 | 0.01未満 |
| 溶解性鉄含有量 | mg/L | 10 | 0.02未満 |
| ノルマルヘキサン抽出物質含有量 | mg/L | 5 | 0.5未満 |
| 溶解性マンガン含有量 | mg/L | 10 | 0.01未満 |



● 水質管理報告書